

2025年度
当初予算

都道府県観光予算アンケート

③関東

本社調査 2025年度

栃木県

【当初 観光予算】

438,148千円（前年度比95.0%）

【予算額上位】

- ①観光キャンペーン推進事業費(126,173千円)
- ②インバウンド誘客促進重点事業費(107,244千円)
- ③海外誘客プロモーション事業費(25,231千円)
- ④海外デジタルツール活用事業費(24,304千円)
- ⑤アンテナショップ運営事業費(13,000千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 観光キャンペーン推進事業費(126,173千円)
 - 観光誘客プロモーション事業費(26,798千円)
 - アンテナショップ運営事業費(13,000千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド誘客促進重点事業費(107,244千円)
 - 海外誘客プロモーション事業費(25,231千円)
 - 海外デジタルツール活用事業費(24,304千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光地におけるWEBマップ等活用促進事業(9,062千円)
 - SPORTS MICEエクスカージョン助成事業費(5,280千円)
 - 滞在環境・満足度向上事業費(4,700千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 観光情報発信事業費(15,555千円)
 - 観光地域づくり法人(DMO)機能強化事業費(3,857千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の導入状況やその効果・影響等の把握に努めている。

茨城県

【当初 観光予算】

1,635,695千円（前年度比92.9%）

【予算額上位】

- ①宿泊施設等立地促進事業費(1,002,000千円)
- ②いばらきネクストツーリズム推進事業費(165,550千円)
- ③ビジット茨城ネクスト誘客促進事業費(133,854千円)
- ④茨城インバウンド推進体制整備事業費(99,468千円)
- ⑤魅力発信支援事業(54,256千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 魅力発信支援事業(54,256千円)
 - 観光キャンペーン事業費(33,330千円)
- インバウンド誘客促進
 - ビジット茨城ネクスト誘客促進事業費(133,854千円)
 - 茨城インバウンド推進体制整備事業費(99,468千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - いばらきネクストツーリズム推進事業費(165,550千円)
 - フラワーパーク振興事業費(17,511千円)
 - MICB誘致推進事業費(3,221千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - いばらきおもてなしレベルアップ事業費(16,718千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

・他自治体の動向を注視。

令和3年に導入について検討を行ったが、宿泊事業者の経営状況（コロナ禍での融資の返済など）や事務負担増といった課題から見送った経緯があり、以降は動向を注視している。

千葉県

【当初 観光予算】

1,227,247千円（前年度比92.6%）

2025年度当初予算は知事選のため骨格予算

【予算額上位】

- ①千葉県観光物産振興事業(517,332千円)
- ②ちばワーケーション受入促進事業(101,200千円)
- ③観光コンテンツ高付加価値化促進事業(100,000千円)
- ④観光地魅力アップ整備事業(80,000千円)
- ⑤期間限定アンテナショップ事業(45,110千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 鉄道を活用した周遊観光プロモーション事業(28,000千円)
 - アウトドア・スポーツ体験観光割引キャンペーン事業(22,000千円)
- インバウンド誘客促進
 - 海外旅行予約サイト等を活用した観光プロモーション事業(44,900千円)
 - 成田空港における観光情報窓口設置事業(38,300千円)
 - 外国人観光客向け体験観光プログラム魅力向上支援事業(8,500千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光コンテンツ高付加価値化促進事業(100,000千円)
 - ちばワーケーション受入促進事業(101,200千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 観光・宿泊業人材確保事業(21,700千円)
 - 伝統的工芸品産業振興事業(9,414千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

知事が導入を表明。市町村や民間事業者から意見を伺いながら、制度案等を検討中。導入時期等は未定。

埼玉県

【当初 観光予算】

631,516千円（前年度比106.3%）

【予算額上位】

- ①本県の強みを生かした観光プロモーション事業(227,441千円)
- ②インバウンド誘致の推進事業(155,534千円)
- ③DMO体制整備事業(103,925千円)
- ④ビッグデータ等を活用した観光振興事業(44,677千円)
- ⑤物産観光振興事業(26,886千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 本県の強みを生かした観光プロモーション事業(227,441千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド誘致の推進事業(155,534千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - ビッグデータ等を活用した観光振興事業(44,677千円)
 - DMO体制整備事業(103,925千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - DMO体制整備事業(103,925千円)
 - ビッグデータ等を活用した観光振興事業(44,677千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向を注視。導入時期等は未定。

群馬県

【当初 観光予算】

787,542千円（前年度比120.7%）

【予算額上位】

- ①リトリート推進(404,309千円)
- ②観光宣伝(243,661千円)
- ③インバウンド誘客促進(78,160千円)
- ④レクリエーション施設管理(19,851千円)
- ⑤観光施設等特別維持整備(19,285千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - リトリート推進(404,309千円)
 - 観光宣伝(243,661千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド誘客促進(78,160千円)
 - 観光施設等特別維持整備(19,285千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - レクリエーション施設管理(19,851千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 観光事業振興対策(14,845千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向を注視。さまざまな角度から検討中。

山梨県

【当初 観光予算】

5,611,783千円（前年度比107.2%）

2025年度の組織改編により富士山観光関連部署が加わる。

【予算額上位】

- ①やまなし観光推進機構事業費補助金(91,561千円)
- ②富士の国やまなし観光振興施設整備事業費補助金(65,000千円)
- ③「Cave de ワイン県やまなし」運営事業費(45,934千円)
- ④「美酒・美食王国やまなし」推進事業費(36,644千円)
- ⑤信玄公祭り甲州軍団出陣等事業費補助金(33,067千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 「Cave de ワイン県やまなし」運営事業費(45,934千円)
 - 「美酒・美食王国やまなし」推進事業費(36,644千円)
 - 信玄公祭り甲州軍団出陣等事業費補助金(33,067千円)
- インバウンド誘客促進
 - インバウンド観光プロモーション事業費(17,788千円)
 - 食の多様性対応支援事業費(14,587千円)
 - インバウンド周遊観光促進事業費(1,936千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 富士の国やまなし観光振興施設整備事業費補助金(65,000千円)
 - 土産品高付加価値化支援事業費(13,126千円)
 - 峡南地域観光振興事業費(4,841千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - やまなし観光推進機構事業費補助金(91,561千円)
 - 若手シェフ等応援事業費(10,354千円)
 - 観光経営人材育成事業費(8,255千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向を注視。さまざまな角度から研究中。

神奈川県

【当初 観光予算】

855,529千円（前年度比147.8%）

【予算額上位】

- ①かながわDMO事業費補助(274,311千円)
- ②かながわ観光連携エリア推進事業費補助(150,000千円)
- ③デスティネーションキャンペーン推進事業費(100,000千円)
- ④国内観光プロモーション事業費(93,741千円)
- ⑤外国語観光情報発信事業費(42,442千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - デスティネーションキャンペーン推進事業費(100,000千円)
 - 国内観光プロモーション事業費(93,741千円)
 - 寄附金返礼事業費(21,470千円)
- インバウンド誘客促進
 - 外国語観光情報発信事業費(42,442千円)
 - 国際観光プロモーション事業費(33,524千円)
 - 外国人観光客誘致広域連携事業費(6,160千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - かながわ観光連携エリア推進事業費補助(150,000千円)
 - 観光客実態調査事業費(41,601千円)
 - 観光客受入環境整備費補助(30,225千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - かながわDMO事業費補助(274,311千円)
 - かながわ認定観光案内人認定事業費(5,977千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

・現在、県として、宿泊税導入に向けた具体的な検討は行っていない。
・他自治体の動向を注視し、本県の実情を踏まえた上で、宿泊税をはじめとした新たな観光財源について研究しているところである。

東京都

【当初 観光予算】

30,563,000千円（前年度比99.9%）

観光産業の持続的な成長に向けた施策を強力に推進し、世界最高の「PRIME観光都市・東京」を実現

【予算額上位】

- ①観光まちづくり(14,116,000千円)
- ②観光インフラ整備支援事業(4,732,000千円)
- ③情報の収集及び発信(3,684,000千円)
- ④MICEの誘致・開催支援(3,053,000千円)
- ⑤観光案内機能の充実(2,549,000千円)

【分野別主要事業】

- 日本人国内旅行誘客促進
 - 「観光プロモーション等の積極的な展開」(2,199,000千円)の一部※海外旅行者向けと国内旅行者向け事業との明確な予算の切り分けが難しいため
- インバウンド誘客促進
 - 情報の収集及び発信(3,684,000千円)
 - 観光プロモーション等の積極的な展開(2,199,000千円)
- 観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など
 - 観光まちづくり(14,116,000千円)
 - 観光インフラ整備支援事業(4,732,000千円)
 - 観光案内機能の充実(2,549,000千円)
- 観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など
 - 人材の育成・活用(1,038,000千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

平成14年10月から宿泊税を導入。
本年内を目途に宿泊税の見直しについて素案を示す予定。

2025年度
当初予算

都道府県観光予算アンケート

④九州・沖縄

佐賀県

【当初 観光予算】

963,837千円(前年度比91.6%)

【予算額上位】

- ①観光連盟補助(457,095千円)
- ②訪日外国人観光客宿泊推進事業(313,773千円)
- ③九州観光機構負担金(44,738千円)
- ④観光振興事業(44,895千円)
- ⑤佐賀空港観光情報発信スペース運営事業(27,490千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 国内観光客誘客促進事業(81,973千円)

■インバウンド誘客促進

- 訪日外国人観光客宿泊推進事業(313,773千円)
- 海外観光客誘客促進事業(225,551千円)
- “さが”プレミアムコンテンツ創出事業(25,000千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- サイクルツーリズム推進事業(16,468千円)
- 佐賀型観光プロダクツ創出事業(13,299千円)
- 受入環境整備事業(23,043千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 九州観光機構負担金(44,738千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

現時点で導入の予定はないが、今後の状況を見ていきたい。

福岡県

【当初 観光予算】

1,399,189千円(前年度比55.58%)
※2025年度は暫定予算

【予算額上位】

- ①県内送客促進事業費(247,484千円)
- ②福岡県宿泊税交付金(139,066千円)
- ③観光振興事業費(121,157千円)
- ④体験・交流・滞在型観光資源開発事業費(72,815千円)
- ⑤国内観光需要喚起事業(45,778千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 県内送客促進事業費(247,484千円)
- 国内観光需要喚起事業(45,778千円)
- 観光プロモーション推進事業費(33,645千円)

■インバウンド誘客促進

- インバウンド誘客先多角化促進事業(64,270千円)
- 欧米豪等インバウンド誘客促進費(45,449千円)
- インバウンド観光再興事業(40,499千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 体験・交流・滞在型観光資源開発事業費(72,815千円)
- 新たな観光地域づくり推進費(19,372千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 観光人材育成・雇用促進費(34,355千円)
- 宿泊施設受入対応強化支援事業(25,686千円)
- 宿泊事業者生産性向上支援事業費(22,035千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

2020年4月から実施。現時点で、税額税率の見直しの検討は行っていない。

回答結果を紹介する自治体別の各表のうち、「当初観光予算」では、観光予算額と前年度比のほか、予算の大幅な増減などの要因として留意すべき事項について、記入があった自治体のみ記載した。

【予算額上位】の項目は、当初予算の観光予算額の中で金額の大きい上位5つの事業について回答してもらった結果。

【分野別主要事業】の項目の回答は、「国内旅行(日本人旅行)の誘客促進に関する主要事業」「インバウンド(訪日外国人旅行)の誘客促進に関する主要事業」「観光資源の発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備(観光地域づくり、マーケティングに関する主要事業)」「観光産業の振興・支援、人材育成、観光団体・DMOへの支援に関する主要事業」の4分野に分けて、主な事業を三つ以内

インバウンド誘客に施策
宿泊税の検討状況は――

都道府県の回答結果

で聞いた結果。

【宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況】の欄は、アンケートの設問を「観光振興財源としての宿泊税(法定外目的税)について、導入の是非や制度設計などの検討状況を記入ください。」また、すでに実施が決まっている場合は、実施予定時期、税額税率の方式等を記入ください。実施済みの場合は、税額税率の変更等に関する検討状況の有無、実施予定を記入ください」とし、回答を求めた。

「北海道・東北」エリアと「北陸信越・中部」エリアの道県の回答結果は、6月23日付の4面、5面で紹介した。

次号7月7日付では、「関西」エリアと「中国・四国」エリアの府県の回答結果を掲載する予定。

大分県

【当初 観光予算】

1,015,720千円(前年度比105.4%)

【予算額上位】

- ①インバウンド推進事業(238,166千円)
- ②国内誘客総合推進事業(101,453千円)
- ③大阪・関西万博を契機とした誘客等促進事業(95,331千円)
- ④地域の魅力を生かした多様なツーリズム推進事業(57,898千円)
- ⑤ツーリズム推進基盤強化事業(55,671千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 国内誘客総合推進事業(101,453千円)
- 大阪・関西万博を契機とした誘客等促進事業(95,331千円)
- 宇佐神宮御鎮座1300年誘客等促進事業(50,071千円)

■インバウンド誘客促進

- インバウンド推進事業(238,166千円)
- 大阪・関西万博を契機とした誘客等促進事業(95,331千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 地域の魅力を生かした多様なツーリズム推進事業(57,898千円)
- ツーリズム推進基盤強化事業(55,671千円)
- 観光データマーケティング推進事業(52,671千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 宿泊業経営力強化加速化事業(32,275千円)
- ツーリズム推進基盤強化事業(55,671千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

知事が導入の可否を含めた検討を表明。検討会議を設置(2025年5月28日)。

熊本県

【当初 観光予算】

1,298,693千円(前年度比135.0%)
※2024年度は骨格予算※2024年10月に観光担当部局の組織改正あり
※熊本デスティネーションキャンペーン(2026年実施)に関する予算増

【予算額上位】

- ①観光誘客プロモーション推進事業(241,670千円)
- ②ツール・ド・九州受入環境整備事業(136,219千円)
- ③国際パドミントン大会誘致促進事業(101,400千円)
- ④熊本地震震災ミュージアム推進事業(93,139千円)
- ⑤『ONE PIECE』連携復興応援事業(89,945千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 観光誘客プロモーション推進事業(241,670千円)
- 国内観光誘致対策事業(36,768千円)
- 教育旅行誘致推進事業(18,012千円)

■インバウンド誘客促進

- インバウンド誘致推進事業(35,471千円)
- 台湾インバウンド誘客強化事業(23,500千円)
- クルーズ船誘致促進事業(15,707千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 『ONE PIECE』連携復興応援事業(89,945千円)
- デジタルマーケティング事業(28,620千円)
- スマート観光交通体系構築推進事業(24,974千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 熊本県観光連盟補助(45,112千円)
- DMO等連携推進事業(30,000千円)
- 観光産業復興による雇用創出事業(13,930千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向を注視。さまざまな角度から研究中。

長崎県

【当初 観光予算】

1,387,336千円(前年度比76.6%)
※国際観光振興室をインバウンド推進課に改組

【予算額上位】

- ①しま旅滞在促進事業費(255,428千円)
- ②しま旅受入体制整備事業費(111,087千円)
- ③「みんなで磨く！観光まちづくり」推進事業費(109,372千円)
- ④長崎県FITインバウンド推進事業費(84,614千円)
- ⑤インバウンドプロモーション強化事業費(79,965千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- しま旅滞在促進事業費(255,428千円)
- 大阪・関西万博を契機とした関西誘客プロモーション事業費(33,126千円)
- 観光DX・プロモーション事業費(70,739千円)

■インバウンド誘客促進

- 長崎県FITインバウンド推進事業費(84,614千円)
- インバウンドプロモーション強化事業費(79,965千円)
- 大型客船誘致促進プロジェクト推進事業費(60,201千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 「みんなで磨く！観光まちづくり」推進事業費(109,372千円)
- 観光DX・プロモーション事業費(70,739千円)
- インバウンド需要創出拡大事業費(31,311千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 宿泊施設インターンシップ受入支援事業(7,487千円)
- 「長崎のおもてなし力」向上事業費(6,605千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

今後の観光振興施策に必要なとなる、宿泊税に限らない安定的な財源確保策について、専門的な知見から議論を行うため、県観光審議会の中に「観光振興財源検討専門委員会」を設置し、検討中。

沖縄県

【当初 観光予算】

5,015,379千円(前年度比106%)

【予算額上位】

- ①沖縄観光グローバル事業(576,323千円)
- ②観光人材確保支援事業(405,640千円)
- ③持続可能な国際観光景観事業(350,000千円)
- ④観光2次交通結節点機能強化事業(248,288千円)
- ⑤スポーツツーリズム戦略推進事業(245,404千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- スポーツツーリズム戦略推進事業(245,404千円)
- 国内需要安定化事業(231,957千円)

■インバウンド誘客促進

- 沖縄観光グローバル事業(576,323千円)
- 戦略的クルーズ観光推進事業(67,120千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 観光案内所運営事業(102,692千円)
- 高付加価値なインバウンド観光地形成事業(180,000千円)
- 沖縄観光コンテンツ開発支援事業(89,723千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 観光人材確保支援事業(405,640千円)
- 観光人材育成・確保促進事業(57,597千円)
- 沖縄観光コンベンションビュロー補助事業費(40,360千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

宿泊税(法定外目的税)導入に向けて制度案を検討中。

鹿児島県

【当初 観光予算】

1,881,861千円(前年度比95.2%)

【予算額上位】

- ①魅力ある観光地づくり事業(1,000,000千円)
- ②奄美パーク管理事業(149,197千円)
- ③奄美パーク改修等事業(127,488千円)
- ④海外誘客ステップアップ事業(119,094千円)
- ⑤観光かごしま大キャンペーン推進事業(70,000千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 観光かごしま大キャンペーン推進事業(70,000千円)
- 「南の宝箱 鹿児島」観光デジタルプロモーション事業(52,383千円)
- 修学旅行等対策事業(12,222千円)

■インバウンド誘客促進

- 海外誘客ステップアップ事業(119,094千円)
- 国際クルーズ船誘致促進事業(55,393千円)
- ペトナム誘客プロモーション事業(28,150千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 外国人観光客受入体制整備事業(17,091千円)
- サイクルツーリズム推進事業(12,260千円)
- 地域観光資源磨き上げ事業(3,852千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 「稼げる」観光地域づくり推進事業(27,412千円)
- 観光振興対策事業(9,377千円)
- フィルムコミッション活動支援事業(8,739千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向について情報収集を行い、必要性を含め検討中。

宮崎県

【当初 観光予算】

1,281,370千円(前年度比111.3%)

【予算額上位】

- ①外国人個人観光客誘客事業(195,000千円)
- ②宿泊業の生産性・サービス向上支援事業(129,550千円)
- ③宮崎の強みを生かした誘客事業(123,500千円)
- ④みやざきインバウンド誘客回復・強化事業(95,350千円)
- ⑤大阪・関西万博を見据えた観光誘客促進事業(48,000千円)

【分野別主要事業】

■日本人国内旅行誘客促進

- 宮崎の強みを生かした誘客事業(123,500千円)
- 大阪・関西万博を見据えた観光誘客促進事業(48,000千円)
- 推し活で日本のひなたプロモーション事業(38,180千円)

■インバウンド誘客促進

- 外国人個人観光客誘客事業(195,000千円)
- みやざきインバウンド誘客回復・強化事業(95,350千円)
- インバウンド向け二次交通対策強化事業(41,050千円)

■観光資源発掘・磨き上げ、受け入れ態勢整備など

- 宿泊業の生産性・サービス向上支援事業(129,550千円)
- 魅力あふれる観光地域づくり事業(29,724千円)

○ユニバーサルツーリズム受入環境整備事業(20,000千円)

■観光産業の振興・支援、人材育成、DMO支援など

- 宮崎の強みを生かした誘客事業<再掲>(123,500千円)
- 魅力あふれる観光地域づくり事業<再掲>(29,724千円)
- 宿泊業等人材確保対策事業(6,350千円)

◆宿泊税の導入の是非や制度設計などの検討状況

他自治体の動向を注視。具体の検討は行っていない。